農林水産省登録
第２４９９１号

抑草剤

グラスショート®液剤



草刈りの回数を減らしましょう!

●雑草の生育を抑制し草刈り作業回数・労力を軽減
●法面や傾斜地など不安定な場所での作業リスクを回避
●畦畔、農道、水路等の土壌崩壊を防ぎ、景観を保持
●ナガエツルノゲイトウ・キシュウスズメノヒエなど畦畔からの侵入雑草を抑草
●クズ・イボクサなど厄介な広葉雑草を枯殺
●斑点米カメムシの棲家となる畦畔雑草を抑草

抑草剤

●雑草の生育を抑え、畦畔管理の労力軽減ができます。
●一年生の広葉雑草は枯殺し、楽に草刈りができるようになります。



2014年広島県庄原市

2 Ways!

除草剤

2012年静岡県掛川市



クズや、つる性の広葉雑草を枯らします。

除草効果&抑草効果で
理想的な畦畔管理を実現



自然に学び 自然を守る
クミカ

®:クミアイ化学工業(株)の登録商標　※商品画像はイメージです。

農林水産省登録 第24991号

除草剤分類 2

グラスショート®液剤

有効成分：ビスピリバックナトリウム塩・・・3.0%
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

適用場所・雑草と使用方法

2025年10月現在の登録内容

■抑草剤としての使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	10アール当り使用量 薬量	10アール当り使用量 希釈水量	本剤の使用回数	使用方法
水田作物（水田畦畔）	水田畦畔	一年生雑草 多年生雑草	草丈抑制による刈取り軽減	雑草生育初期又は草刈り後10～20日の雑草再生期（但し、収穫前日まで）	300～500mℓ	通常散布 50～100ℓ 少量散布 25ℓ	3回以内※	雑草茎葉散布
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、運動場、宅地等			雑草生育期又は刈取り後	500～1000mℓ	通常散布 100～200ℓ 少量散布 25～50ℓ		植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布

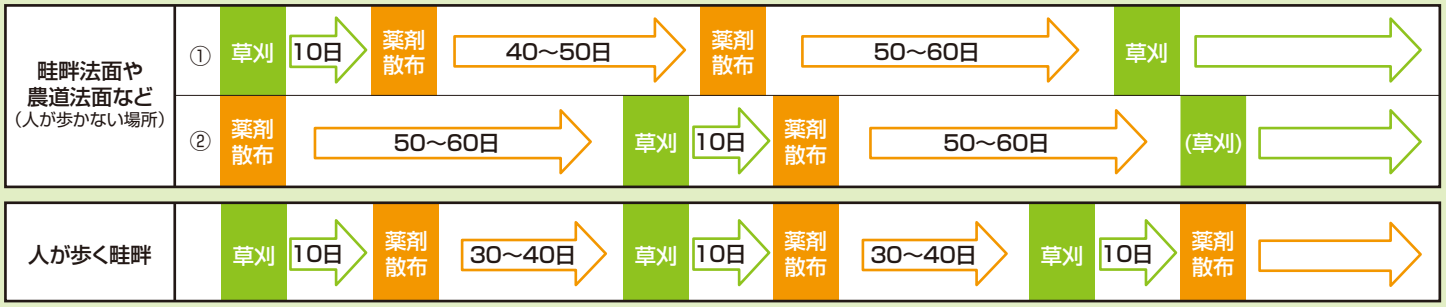
■除草剤としての使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量 薬量	10アール当り使用量 希釈水量	本剤の使用回数	使用方法
水田作物（水田畦畔）	水田畦畔	イボクサ	生育期（但し、収穫前日まで）	300～500mℓ	50～100ℓ	3回以内※	雑草茎葉散布
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、運動場、宅地等	クズ	生育期	500～1000mℓ	100～200ℓ		植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布
			生育初期（5～6月）	つる径 2.0cm以下 0.5mℓ / 2.1～3.0cm 1.0mℓ / 3.1～4.0cm 1.5mℓ / 4.1～5.0cm 2.0mℓ / 5.1cm以上 適宜増量	原液		つる注入処理
林　木	林地						

※ビスピリバックナトリウム塩を含む農薬の総使用回数：3回以内

上手な使い方

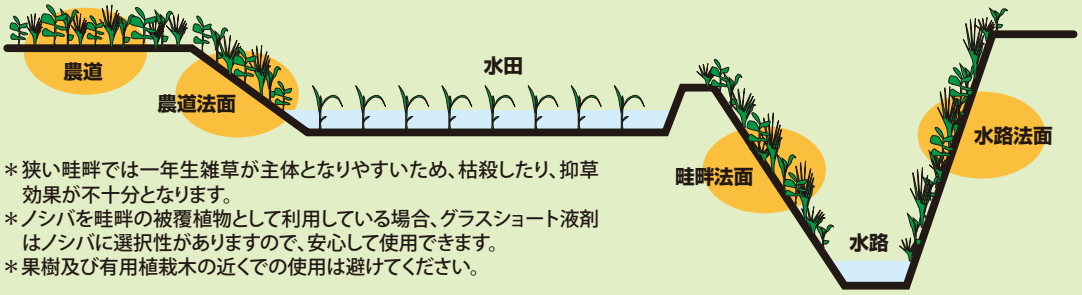
畦畔法面や農道法面など通常人が歩かない場所では、草刈りを1～2回、薬剤散布を2回組み合わせることで管理することができます。
また、人が歩く部分では草刈りと薬剤散布を繰り返し行うことで草刈り作業回数を低減することができます。



①雑草が大きい場合：草刈りをして雑草の再生初期に散布　②雑草が小さい場合：草刈りせずに散布

◆チガヤなどの多年生イネ科雑草主体の場所に散布してください。ヨモギ、イタドリ、スギナ等の多年生雑草が混在しても、抑草効果を発揮します。

◆オヒシバ、カモジグサ、カラスムギ、ネズミムギ、イタリアンライグラス等の一年生イネ科雑草主体の場所では抑草効果が短くなります。



＊狭い畦畔では一年生雑草が主体となりやすいため、枯殺したり、抑草効果が不十分となります。
＊ノシバを畦畔の被覆植物として利用している場合、グラスショート液剤はノシバに選択性がありますので、安心して使用できます。
＊果樹及び有用植栽木の近くでの使用は避けてください。

■使用上の注意事項

●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●散布前によく攪拌してください。
●沈殿が生じることがあるので、よく振ってから使用してください。
●展着剤の加用の必要はありません。
●草丈抑制による刈り取り軽減目的で使用する場合、散布時期は、水田畦畔の雑草生育初期又は草刈り後10～20日（草丈10cm）程度、樹木等の雑草生育期又は刈取後（草丈30～50cm程度）に、時期を失しないように散布してください。なお、ナガエツルノゲイトウは草丈30cmまでが散布適期です。
●雑草の生育期に薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるようにしてください。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低減するので時期を失しないように散布してください。
●公園、堤とう等において、体系で使用する場合、2回目の処理は、1回目処理後、40～50日後に実施してください。
●散布後6時間以内の降雨は効果を減することがあるので、天候を見極めてから散布してください。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●低温下では効果の発現が遅れることがあります。
●雑草の種類によっては効果が変動する場合があります。
●クズのつる注入処理をする際の注意事項
　○処理位置は、株元から50cm以内とし、刃物などで外皮を木質部が見えるくらいに剥皮して、薬液が十分付着するように滴下してください。
　○株頭が大きく、複数のつるが出ているものは、すべてのつるに薬液を処理してください。
●水稲に直接かからないようにしてください。
●幼穂形成期から乳熟期の水稲に飛散した場合、出穂、籾の品質に影響することがあるので、散布に当っては飛散防止ノズルを使用してください。
●水稲以外の作物及び有用植栽木の茎葉部へ薬液が飛散した場合、葉の黄化、落葉、枯死等の薬害が発生するので、田畑、果樹園などの周辺では流入、飛散に十分注意してください。
●少量散布は専用ノズルを使用をしてください。
●散布や調製に使用した器具・ホース等は水洗い、水通しをしてください。
●公園、堤とうなどで使用する場合、特に以下のことに注意してください。
　○水源池、養殖池などに飛散、流入しないように十分注意してください。
　○散布器具、容器の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
●使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

■安全使用上の注意

●眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
●使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
●公園、堤とう等で使用する場合には、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
●使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
●水産動植物（魚類）に影響を及ぼすおそれがあるので、養魚田周辺での使用には注意してください。
●保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な場所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

2560(26-1)

JAグループ 農協 全農 経済連
全農は登録商標 第4702318号

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス https://www.kumiai-chem.co.jp

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。